

岩手県看護協会 宮古支部だより 第2号

令和6年3月発行

《研修報告①》 ACP 看護師のメンタルヘルスケアについて

日 時： 令和5年10月21日(土) 10:00~12:00
会 場： 岩手県立宮古病院 会議室
講 師： 県立宮古病院 乳がん看護認定看護師 古澤優子氏
出席者： 26名(会員24名・非会員2名)

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)における患者さんやその家族と関わる姿勢や、支援者側のメンタルヘルスケアについての学びを深めました。

「ACPについて患者や家族と関わる姿勢を学ぶことができた」
「事例紹介もあり、分かりやすい研修だった」等の感想が聞かれ有意義な研修会となりました。



《研修報告②》 感染リンクナース育成研修



日 時： 令和5年11月4日(土) 10:00~12:00
会 場： 岩手県立宮古病院 会議室
講 師： 済生会岩泉病院 感染管理認定看護師 鈴木 幸子氏
出席者： 17名(リンクナース6名・会員15名・非会員2名)

日ごろ抱えている感染症対応の悩みを共有しながら、講師の鈴木先生から助言をいただき、より実践に即した今後の活動の参考になる講演会となりました。

アンケートにも「他の病院や施設の現状や問題点について情報共有できて良かった」などの感想が寄せられました。

《 地域別懇談会のご報告 》

11月18日(土)岩手県看護協会と宮古支部、釜石支部の役員等の懇談会をオンラインで開催し、今年度の活動報告や、来年度に向けての事業計画等について報告し、意見交換等を行いました。

会の中では、人材育成や人材確保の重要性、新規会員の加入促進など、話し合いました。

宮古支部では、会員の皆さん自身のスキルアップが図れるような研修会の開催や看護の日などイベントを通じて、“看護職の魅力”を広めていけるよう取り組んでいきたいと考えています。ぜひ、職場内で会員を増やしていただけるようお声がけをお願いいたします。

《 令和5年度看護実践報告会について 》

令和6年2月17日(土)に予定していた報告会は新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を鑑み、中止させていただきました。残念ながら開催は出来ませんでした。各施設等に抄録集をお配りいたしますので、発表予定であった皆さんの活躍を業務の参考にしていただきたいと思います。

看護協会宮古支部 看護実践報告会演題

■第1席 「当院の入院患者における転倒転落の現状と分析」

済生会岩泉病院 ◎看護師 今村真理恵 佐々木真澄 二見紀子

■第2席 「嗅覚刺激を用いた認知機能低下患者の食事摂取量の変化」

岩手県立山田病院 ◎看護師 間木登喜子

■第3席 「病棟看護師の退院支援実践能力向上に向けた現状と課題」

岩手県立山田病院 ◎看護師 佐々木梨紗

■第4席 「フットケア外来における看護記録の見直し

～直接ケア時間の確保に向けた取り組み～

岩手県立宮古病院 ◎主任看護師 山崎英里

■第5席 「A病院における褥瘡発生の現状と実践 ～褥瘡発生率0を目指して～」

岩手県立宮古病院 ◎看護師 藤澤淳子 室岡由紀子 高橋慶佑

《お知らせ 看護の日のイベント》

日時：令和6年5月11日(土)10時～12時

会場：生協マリノープDORA 一階フロア

内容：ナース服試着体験(キッズ限定)、健康相談、血圧測定、体組成測定

是非、お立ち寄りください。



看護の日